

OKI *Open up your dreams*

2010年度
第109期 中間報告書

(2010年4月1日から2010年9月30日まで)

沖電線株式会社

証券コード：5815

ごあいさつ



取締役社長 服部 隆

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、機器用電線や通信用ケーブル、ワイヤカット放電加工機用電極線、およびフレキシブル基板（FPC）といった製品群を中心にして、開発設計から製造、販売までの一貫した電線関連事業を営んでおります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加、生産の持ち直し、企業収益の改善など、着実に持ち直してきているものの、デフレ状況にあることや失業率が高水準にありました。

また、円高の進行による国内景気の下振れ懸念など、先行き予断を許さない状況で推移してまいりました。

電線業界における銅電線出荷量は、通信部門や建設・電線販売部門については低調に推移しておりますが、電気機械や自動車部門の回復が顕著となっており、前年同期を上回る状況で推移してまいりました。

当社グループは、当期の黒字化を最優先課題として取り組んでおります。売上高の確保に向けた施策として、新製品を継続的に市場へ投入することにより売上拡大を図るとともに、市場のニーズにすばやく対応するために、直販主体の機動的な営業スタイルを強化してまいりました。

また、利益改善の面では、生産性の向上、ロス削減、海外生産委託の活用などに取り組むとともに、人件費の圧縮、諸経費の節減、設備投資の抑制などの施策を実施してまいりました。

売上高につきましては、前年度第1四半期を底に落ち込んだ受注は順調に回復してきており、好調なアジア向け輸出に支えられた国内メーカー向けや海外売上高の増加により、前年同期と比べ1,999百万円増の5,388百万円となりました。

損益につきましては、銅価格の高止まりによるコスト増はあったものの、前年同期と比べ売上高が大幅に増加したため、営業損益は159百万円の利益、経常損益は為替差損の発生はあったものの136百万円の利益、四半期純損益は110百万円の利益となりました。

このような業績ではありますが、中間配当につきましては、見送ることとさせていただきます。

当社では、安定的な収益力の回復に向けて、2010年度から13年度までの中期経営計画『開化13』を進めております。

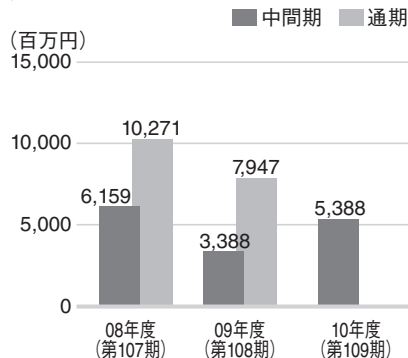
これまでの中期計画『維新2010』を引き継ぎ、電線、電極線、FPCという3つの事業で世界に誇れるニッチトップになることを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

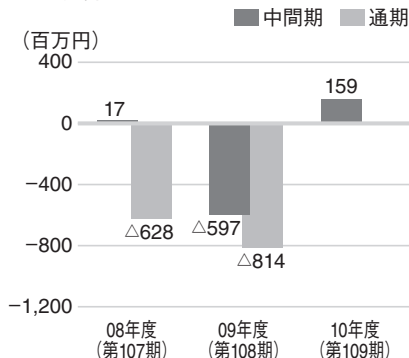
2010年12月

主な経営指標（連結）

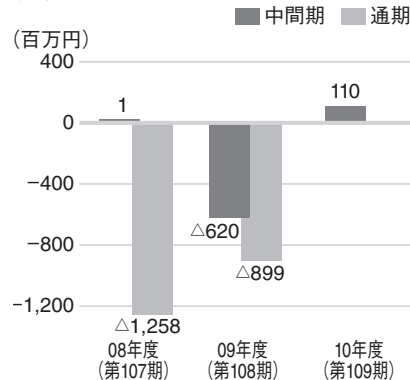
売上高



営業利益



純利益



セグメント別概況（連結）

〔電線・ケーブル事業〕

売上高につきましては、産業用機械および工作機械メーカーのアジア向け輸出が好調であったため、機器用電線、ワイヤーハーネス、光ケーブルなどが増加しました。

また、フレキシブル基板は試作案件の量産化が進み増加しました。

一方、通信用ケーブルは、国内の建設投資抑制の影響により微減となりました。

その結果、売上高は前年同期と比べ1,225百万円増の3,715百万円となりました。

営業損益につきましては、銅価格の上昇によるコスト増はあったものの、売上高の大幅な増加や変動費比率の低下などにより、前年同期657百万円の損失に対して42百万円の利益となりました。

〔電極線〕

売上高につきましては、国内・海外向け需要の回復や新ブランドの投入により増加するとともに、銅・亜鉛価格の上昇を受け販売価格が押し上げられたため、前年同期と比べ786百万円増の1,458百万円となりました。

営業損益につきましては、主として売上高の増加により、前年同期54百万円の損失に対して20百万円の利益となりました。

〔不動産賃貸〕

売上高につきましては、最近の不動産賃貸価格の下落の影響を受け、前年同期と比べ12百万円減の214百万円となりました。

営業損益につきましては、主として売上高の減少により、前年同期に比べ17百万円減の97百万円の利益となりました。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(2010年9月30日現在)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流 動 資 産	6,762
現金 及 び 預 金	1,898
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,049
有 価 証 券	501
商 品 及 び 製 品	450
仕 掛 品	379
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	185
そ の 他	302
貸 倒 引 当 金	△2
固 定 資 産	5,442
有 形 固 定 資 産	4,736
建 物 及 び 構 築 物 (純 額)	2,693
土 地	1,403
そ の 他 (純 額)	639
無 形 固 定 資 産	210
投 資 そ の 他 の 資 産	495
そ の 他	506
貸 倒 引 当 金	△11
資 産 合 計	12,205

(単位：百万円)

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流 動 負 債	2,361
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,549
短 期 借 入 金	190
未 払 法 人 税 等	36
そ の 他	585
固 定 負 債	1,420
退 職 給 付 引 当 金	998
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	82
そ の 他	340
負 債 合 計	3,782
(純 資 産 の 部)	
株 主 資 本	8,377
資 本 金	4,304
資 本 剰 余 金	3,101
利 益 剰 余 金	1,475
自 己 株 式	△504
評 価 ・ 換 算 差 額 等	45
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	61
為 替 換 算 調 整 勘 定	△15
純 資 産 合 計	8,422
負 債 純 資 産 合 計	12,205

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 14,264百万円

連結財務諸表

四半期連結損益計算書（累計）

（2010年4月1日から2010年9月30日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
売 上 高	5,388
売 上 原 価	4,234
売 上 総 利 益	1,153
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	993
営 業 利 益	159
営 業 外 収 益	19
受 取 利 息	1
受 取 配 当 金	12
そ の 他	5
営 業 外 費 用	42
支 払 利 息	1
為 替 差 損	40
そ の 他	0
経 常 利 益	136
特 別 利 益	4
特 別 損 失	12
税金等調整前四半期純利益	128
法人税、住民税及び事業税	20
法人税等調整額	△3
少数株主損益調整前四半期純利益	110
四 半 期 純 利 益	110

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（累計）

（2010年4月1日から2010年9月30日まで）

（単位：百万円）

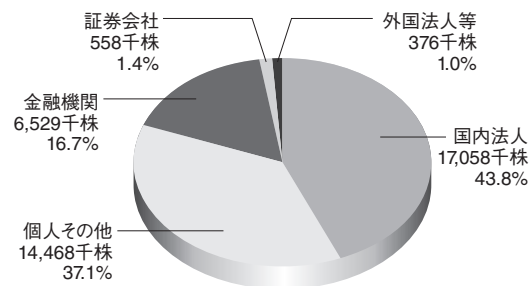
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	389
投資活動によるキャッシュ・フロー	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12
現金及び現金同等物の増加額	409
現金及び現金同等物の期首残高	1,644
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	144
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,198

株式の概況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	37,272,023株 (自己株式1,718,847株を除く)
株主数	5,557名
大株主の状況	

株式の所有者別の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	13,075千株	35.1%
明治安田生命保険相互会社	2,087	5.6
沖電線取引先持株会	1,571	4.2
株式会社損害保険ジャパン	1,000	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	651	1.7
株式会社みずほコーポレート銀行	575	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	489	1.3
日本証券金融株式会社	364	1.0
沖ウインターテック株式会社	266	0.7
沖電線従業員持株会	249	0.7



(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概況 (2010年9月30日現在)

設立	1936年7月16日
資本金	4,304百万円
従業員数	320名

主な事業内容
 電線・ケーブル：機器用電線、通信用ケーブル、ワイヤーハーネス、フレキシブル基板
 電極線：放電加工機用電極線
 不動産賃貸

役員	取締役社長 服部 隆	取締役 来住 晶介
	常務取締役 安岡 敏一	常勤監査役 笠井 紀明
	取締役 深山 憲蔵	常勤監査役 池田 力
	取締役 金澤 善一	監査役 下柿元 英夫
	取締役 井上 正夫	

(注) 1. 取締役来住晶介氏は、社外取締役であります。
 2. 常勤監査役池田力、監査役下柿元英夫の両氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告アドレス：<http://www.okidensen.co.jp/>

ホームページのご案内 ホームページでは、当社のニュース、製品のご紹介など様々な情報を掲載いたしておりますので、こちらでご覧いただけます。
<http://www.okidensen.co.jp/>

お知らせ

单元未満株式をお持ちの株主様へ

当社では单元未満株式の買取りのほか、買増しを請求できる制度を導入しております。

お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。

OKI 沖電線株式会社

[本社]	川崎市中原区下小田中二丁目12番8号	(〒211-8585)	電話 (044) 766-3171
[工場]			
群馬工場	群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1	(〒370-0105)	電話 (0270) 76-4311
岡谷工場	長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号	(〒394-8686)	電話 (0266) 27-2255
[営業所]			
仙台営業所	仙台市青葉区二日町3番10号 グランシャリオビル	(〒980-0802)	電話 (022) 266-0855
群馬営業所	群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1	(〒370-0105)	電話 (0270) 76-4300
長野営業所	長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号	(〒394-8686)	電話 (0266) 27-1597
名古屋営業所	名古屋市中区錦一丁目11番20号 大永ビル	(〒460-0003)	電話 (052) 201-2130
大阪営業所	大阪府吹田市金田町5番18号	(〒564-0045)	電話 (06) 6337-2681
福岡営業所	福岡市中央区長浜一丁目1番35号 新KBCビル	(〒810-0072)	電話 (092) 738-1685
	沖ウィンテック株式会社 九州支店内		
[海外子会社]			
日沖電線 (常熟) 有限公司	中国江蘇省常熟市辛庄鎮張橋西環路19号		電話 (+86) 512-5299-2059

